

感覚統合理論 研修会 2018年3月13日(火)

「ちょっと気になる子の理解と支援」

ちょっと気になる子…

- ▶ 落ち着きがない
- ▶ ちょっとしたことでも気持ちが動揺しやすい
- ▶ 不器用でバランスが悪い など

そんなお子さんを、どのように理解し、その育ちを支えらよいのでしょうか。

感覚統合の視点を学ぶと、その子の気持ちや困り感に寄り添いながらサポートするヒントが見えてきます。発達障がい児はもちろん、様々な子どもの支援にも役立ちます。



▼講師：土田玲子氏

日本感覚統合学会会長。作業療法士。日本に感覚統合の理論や療法を広めた草分けの一人。現在、NPO法人なごみの社理事長。アメリカ合衆国フロリダ州フロリダ大学修士課程修了。その後長崎大学医学部保健学科助教授、県立広島大学保健福祉学部教授を歴任。日本LD学会特別支援教育士スーパーバイザー。県立広島大学名誉教授



- 著書 みんなの感覚統合(パシフィックサブライ) 感覚統合Q&A(協同医書出版)
- 監修 感覚統合を活かして子どもを伸ばす! 「音楽療法」(明治図書)
- 監訳 でこぼこした発達の子どもたち(すばる舎)

感覚統合とは 様々な感覚情報を整理したり、まとめたりする(統合する)脳の機能のこと。

感覚の統合が上手く出来るようになると、

- ▶ 必要な感覚を調整して注意を向けられる。
 - ▶ 適切なコミュニケーションが取れるようになる。
 - ▶ 体や手足を上手に使えるようになる。 など
- 周りの状況に応じた行動が取れるようになります。

▼日時 3/13(火) 10:00~16:30 ※部分参加も可能

(AM 座学/PM ホースセラピーや感覚統合的な体験・まとめ)
※部分参加も可能ですが、終日参加するとより理解が深まります。

▼場所 栗橋公民館中村分館(旧・橋野小学校中村分校)

釜石市橋野町第7地割74-3(釜石駅から車で約30分)

▼主な対象者

子どもの支援・育成に関わる方、保育士、教諭、保護者など

▼申込方法(定員30名 先着順)

下記のQRコードもしくは、<http://kamakoma.org/a.html>のフォームから申込下さい。

▼参加費 1,000円(当日支払い)

▼ホースセラピー体験モニター募集 限定5名

研修会中の体験モニターを募集します。感覚統合の視点からの解説もありますが、体験することで理解がより深まります。(体験モニター以外の方は、馬場の周りで見学となります。)体験料2,000円

▼持ち物

動きやすい服装(スカート不可)、上履き(体育館シューズ等)、クリップボード等(参加人数によっては、講義の際に机が用意できません)、昼食(近隣で購入できる場所がありません)

▼託児希望の方は、申込の際に明記下さい。

▼主催・問合せ先 一般社団法人 三陸駒舎



担当：黍原(きびはら)
kama.koma55@gmail.com
090-7070-7378
<http://kamakoma.org>
026-0411釜石市橋野町第9地割44-7
※問合せは、メールでいただくと助かります。

全国で教育的な牧場を営む寄田と復興まちづくりに携わる黍原を中心に2015年4月に設立。築90年の古民家「南部曲り家」を拠点に、馬と共に暮らす地域文化を再生し、エコツーリズムやホースセラピーなど新たな仕事を起こし、誰もが心豊かに過ごすことのできる持続可能な地域の未来をひらきます。2017年12月より、ホースセラピーを取り入れた児童発達支援・放課後等デイサービス事業を開始。



▼後援 釜石・大槌障がい者自立支援協議会

▼申込フォーム

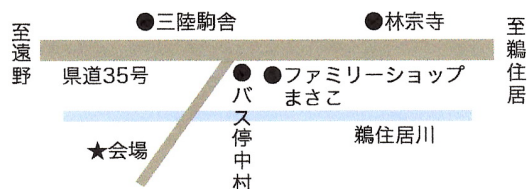


最新情報はこちら



LINE@ 三陸駒舎

▼アクセスマップ



ホースセラピーについて学ぶ「馬の暮らし型セラピー勉強会」を3/21(水)夜(座学)、22(木)午前(実技)に開催
米国の多くの感覚統合の療育施設では、ホースセラピーを実施しています。ホースセラピーを実践しない支援者にとっても、感覚統合を様々な現場で活かす考え方、視点を学ぶことができます。※部分参加も可能です。